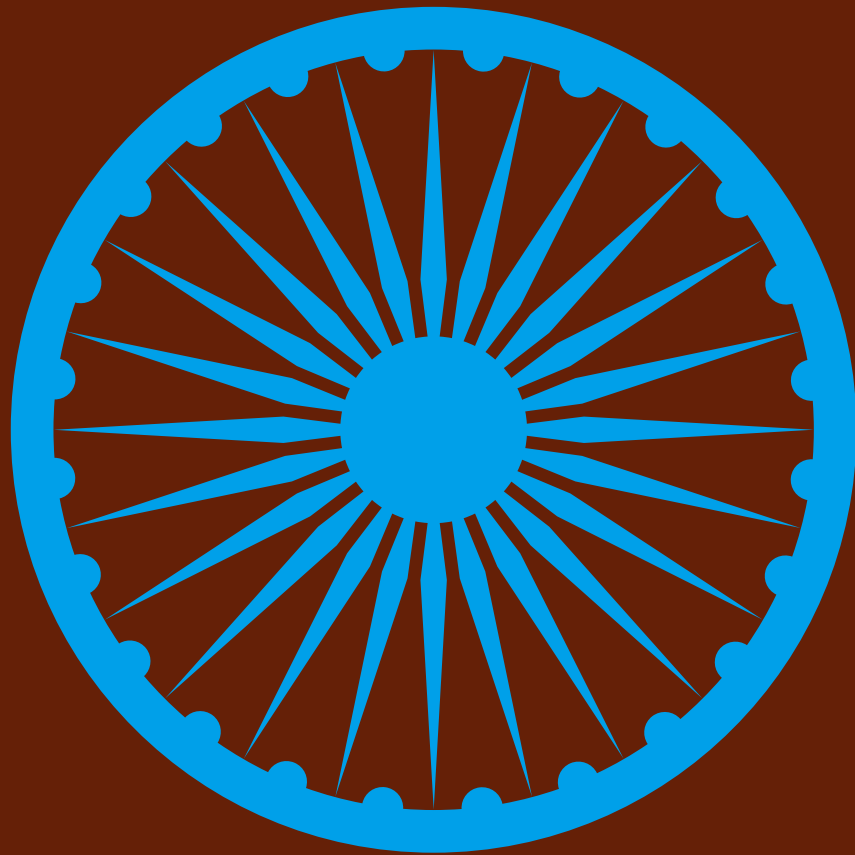




MAKE IN
メイク・イン・インディア
INDIA

皮 革



**農業から自動車まで
ハードウェアからソフトウェアまで
衛星から潜水艦まで
テレビから映画まで
橋からバイオテクノロジーまで
ペーパークリップから発電所まで
道路から都市まで
友情からパートナーシップまで
利益から進歩まで
あなたが望むものはすべて、
インドで作ってください。**



सत्यमेव जयते

「アショカ・チャクラ」は
インドの国章の中心的要素であり、
また国旗の中心にもあしらわれています。
この輪が象徴する平和的進歩とダイナミズムは、
インドの啓示に満ちた過去から受け継がれ、
インドを躍動する将来に向かわせる
力となっています。

太古の昔からインドの国章として
用いられているライオンは、
力、勇気、粘り強さと智恵という、
古代から今日まで受け継がれている
インド的価値観を表しています。



皮革産業の 世界的中心地

豊富な原材料と若い労働力。

インドは皮革産業の世界的中心地。



産業規模は
110 億ドル

2013 年度の
輸出額は
60 億ドル

世界の皮革製品の
10%を生産

今後 5 年間の
予測産業成長率は
24%

労働人口の
55%が
35 歳以下

新たな優遇措置

「メイク・イン・インド」プログラムには、投資とイノベーションの促進、知的財産保護、最高レベルの製造インフラのための主要な新規優遇措置が含まれています。

① 新たなプロセス

- ・ビジネスのしやすい環境づくりを重視
- ・免許制度と規制の緩和

② 新たなインフラ

- ・産業大動脈
- ・産業クラスター
- ・スマートシティ
- ・イノベーション促進
- ・能力開発

③ 新たな分野

- ・防衛、建設、鉄道などの重要産業におけるFDIの開放

④ 新たな姿勢

- ・初めてインドに投資する投資者を到着時か案内し、支援する専門チーム
- ・全分野における、特定企業にターゲットを絞った働きかけ

事実と数字

投資をするべき理由

- インド皮革産業の総生産高は 110 億米ドルであり、輸出への大きな可能性と巨大な国内市場を持つ。
- 輸出額は 1990 年度の 14.2 億米ドルから、2013 年度の過去最高の 60 億米ドルへ増加した。
- 今後 5 年間の輸出の成長率は、年率 24% と予測されている。
- 今後 5 年間で、国内市場は 2 倍に拡大する見込み。
- インドは、生産費や人件費において比較優位がある。

統計

- 原料が豊富な拠点 - インドは世界の牛と水牛の頭数の 21%、ヤギと羊の頭数の 11% を有している。
- インドは世界の皮革需要の 10% にあたる、20 億平方フィートの皮革を生産している。
- 生皮や、クロムなめし、クラスト・レザー、フィニッシュド・レザーといった半加工済皮革の輸入には、輸入税はかからない。
- この皮革産業界は、現在は低価格な輸入皮革も入手できる。



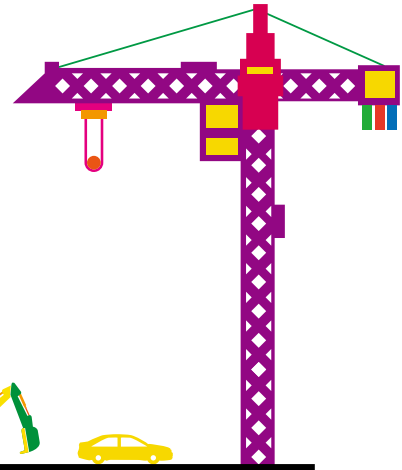
成長の牽引力

- 好ましい投資環境に加え、高い輸出の成長可能性、皮革の入手しやすさ、豊富な基本材料のほか、急速に進む生産能力の近代化と拡大、技能開発、環境管理といった要因により、インドの皮革産業は魅力的な投資先となった。
- インド皮革産業界の 55% の労働者は 35 歳未満であり、最も若く生産的な労働者層の 1 つを持つ業界。
- インド政府は、労働力の技能開発や向上のための多くの方策を実施した。
- 国家技能開発公社による国家技能認証および報奨金スキームの下、皮革産業の既存および新規の労働力に対して、訓練と認定を行うための資金援助が行われている。2013 年 8 月時点で、2 万人の労働者が訓練と認定を受けるためにこのスキームに参加している。
- 産業政策振興庁は、失業者が皮革業界で職を得るための技能開発訓練を提供し、その一方で、作業現場レベルで働く現在の労働者の技能を向上させ、訓練指導者への訓練を与えるための、インド皮革開発プログラム (ILDLP) の「人材資源開発サブ・スキーム」を実施している。
- 直近の 100 日間で、50,000 人を越える若者がこの訓練を受け、皮革業界で職を得た。年間では、さらに 144,000 人が訓練を受ける見込み。
- 履物設計開発機関 (FDDI) は、技術を持った労働者を皮革産業に提供するための最高の訓練機関として設立された。全国に 8 分室を含む 53 のセンターがある。さらに、4 分室が現在設立中である。



投資機会

- 2011年11月に発表された「国家製造業政策」では、皮革産業は、成長と雇用創出のための特別重点産業として認知されている。
- 産業政策振興庁は、「超大型皮革クラスター（MLC）サブ・スキーム」を通過した。このスキームの目的は、すべての必要なインフラと支援サービスが揃った、皮革産業の新しい生産拠点を創ることである。

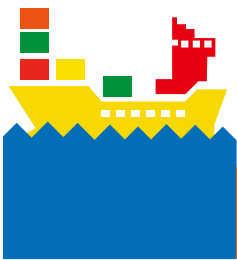


FDI 政策

- 100%の外国直接投資が自動承認ルートで許可されている。

資金援助

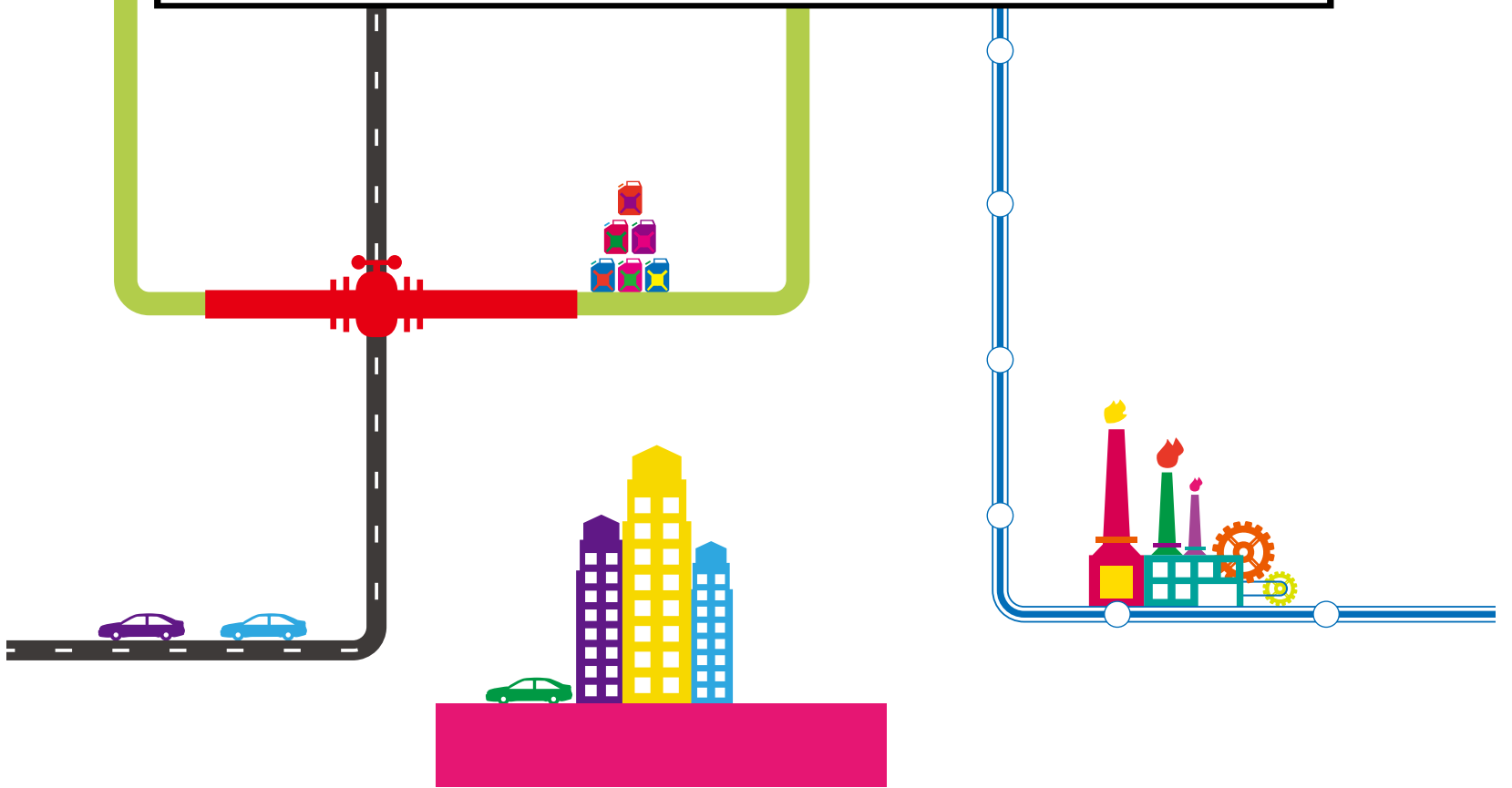
- 皮革製品産業全体での許認可の緩和が、最先端の機械や装置を使った近代的な商品の拡大を促進している。
- ILDPの「皮革産業の統合的開発（IDLS）サブ・スキーム」の下、零細・小企業には工場や機械の費用の30%の補助金が提供され、その他の企業には2000万ルピーを上限として各製品ラインにつき20%の補助金が提供される。
- ILDPの「MLCサブ・スキーム」の下、MLC設立の際には、その規模にもとづく12.5億ルピーを上限とした50%の補助金が提供される。これは、生産と輸出を目的としたインフラ設備と支援サービスを奨励するためである。
- ILDPの「皮革技術、革新、環境問題サブ・スキーム」の下、集中下水処理設備（CETP）の改善または設置をするプロジェクトには、5億ルピーを上限としたプロジェクト費用の50%までの支援が提供される。皮革を扱う企業による環境汚染の問題を解決するためである。

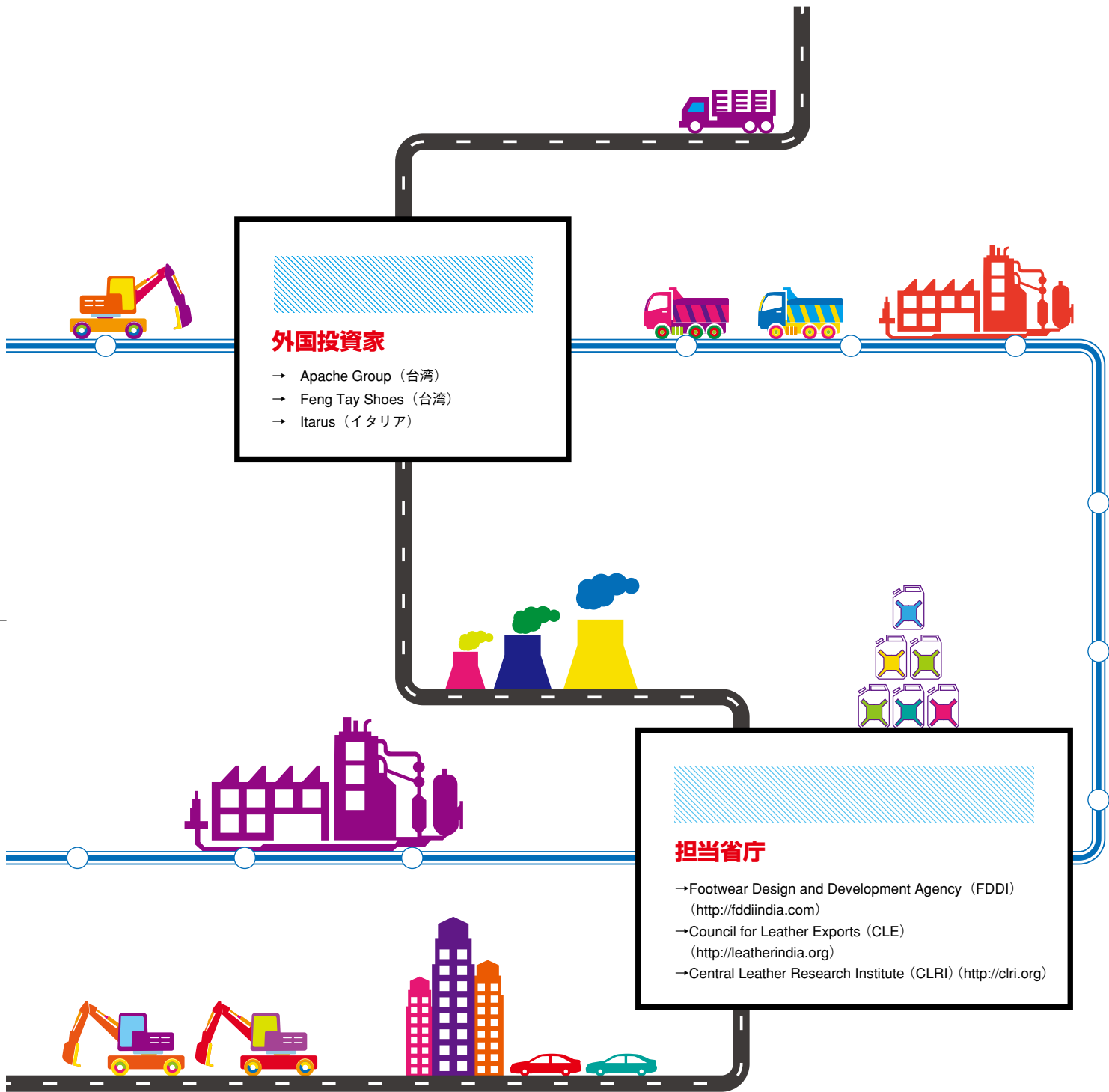




産業政策

- ILDPの一部として実施された、「IDLS サブ・スキーム」は、皮革産業の生産能力の近代化と技術向上に大きく貢献した。
- この産業に必要な資本財（機械）は、外国貿易政策の「輸出促進資本財（EPCG）スキーム」の下、無関税で輸入することができる。免除された関税の6倍の輸出義務を6年で行うことを条件とする。
- 皮革の履物産業の製造を促進する方策として、その履物の価格が500 - 1000 ルピーの場合、物品税が12%から6%に減税される。
- 環境規制に対応するため、皮なめし産業は無排水（ZLD）システムを採用した。
- ILDPの「皮革技術、革新、環境問題サブ・スキーム」の下で、集中下水処理設備改善のための技術評価や環境管理、ごみ処理管理、環境ワークショップの開催のための支援が規定されている。
- 州政府は、製造会社を設立する際の迅速な認可手続きのために、ワンストップの認可システムを設置した。







インド政府

商工省 産業政策推進庁 投資促進室
Department of Industrial Policy & Promotion
Ministry of Commerce & Industry
Investor Facilitation Cell
Tel: +91-11-23487411

お問い合わせ

インド大使館

〒102-0074 東京都千代田区九段南 2-2-11
電話：03-3262-2391 to 97
FAX：03-3234-4866
Email：fspic@indembassy-tokyo.gov.in

インド総領事館

〒541-0056 大阪市中央区久太郎町 1 丁目 9-26 船場 I.S. ビル 10 階
電話：06-6261-7299
FAX：06-6261-7201
Email：cgindia@gol.com

